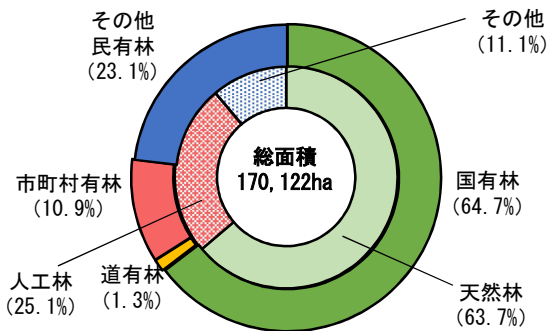


● 森林・林業・林産業

管内の森林総面積は、約17万ha(国有林、道有林、一般民有林)で、総土地面積に対する森林の割合(森林率)は全道の71%に対し49%程度、森林の蓄積も全道の156m³/haに対し114m³/haとなっています。

所管別・形態森林面積別



(令和4年度北海道林業統計)
(四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。)

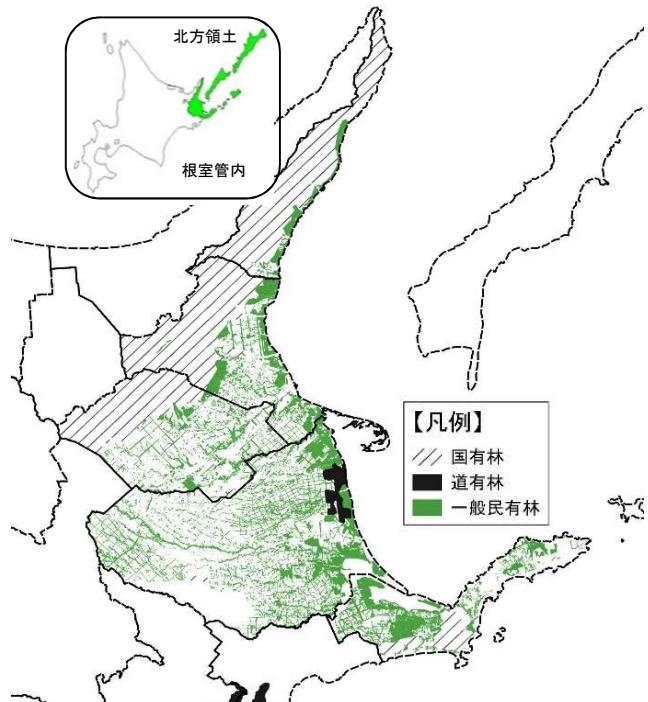
地球温暖化防止における森林の果たす役割が注目され、森林の有する多面的機能の発揮が期待される中、高性能林業機械の導入や林内路網の整備による森林施業の低コスト化や、公共施設などへの木材利用の推進に取り組んでいます。



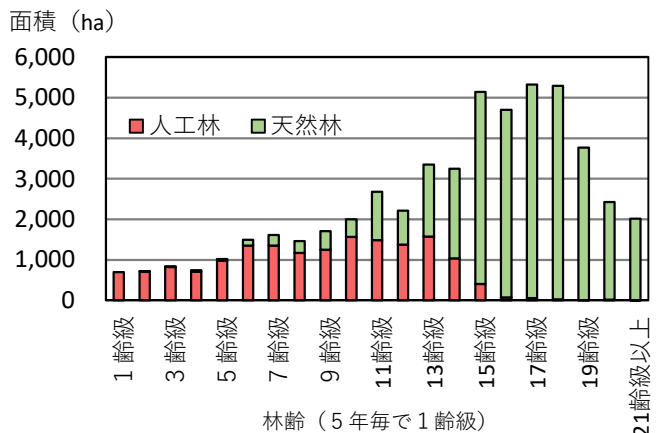
●高性能林業機械による森林施業(根室市)



●路網整備後の森林整備状況(別海町)



一般民有林における森林資源構成



(根室振興局調べ)



(廊下)

(集会室天井)

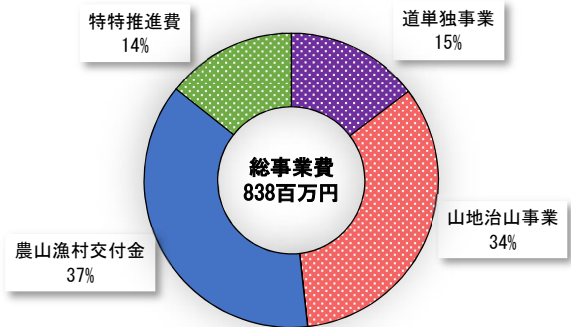
●道産カラマツ材を使用した公共施設
(根室市花咲港会館(コミュニティくるまいし))

産業

地域における特に重要な森林を、その目的に応じ「保安林」として指定していますが、管内の民有林（市町村有林・道有林を含む）における保安林指定率は、全道の37%に対して43%と高く、知床半島沿岸部や風蓮湖周辺では魚つき保安林、内陸部及び海岸部では防風・防霧保安林の指定が進められ、基幹産業である漁業や酪農業等の発展に重要な役割を果たしています。

また、主に知床半島の山地が迫る海岸線沿いでは、山崩れや雪崩等から生活環境や地域産業を守るため、土砂流出防備・土砂崩壊防備保安林の指定が進められ、積極的に治山事業を実施して保安林の機能強化を図っています。

治山事業実施状況



(令和5年度 根室振興局調べ)



●格子状防風林（中標津町） (北海道遺産)



●富塚地先林地荒廃防止施設災害復旧工事（羅臼町海岸町）

木育の取組

道では、すべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」木育の取組を推進しています。管内では、振興局が児童を対象とした木育学習を継続的に実施しているほか、各市町においても木育イベントの取組が進められるなど、着実な広がりを見せています。

～ 木育とは～

木育は、子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組です。それは、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。



●木育×食育の取組 木工体験（別海 くるみ幼稚園）

植樹・育樹の取組（令和6年度実績）

開催時期	名称
5月	中標津町・根釧東部森林管理署共催植樹祭
	標津町育樹活動
6月	別海くるみ幼稚園 道民ひとり1本植樹・育樹運動
	別海中央中学校ふるさと学習
	中標津町 第2ひかり幼稚園シンボルツリー植樹
9月	中標津町 計根別学園 道民ひとり1本植樹・育樹運動
10月	根室市 植樹・育樹活動～みどりの森づくり大作戦
11月	中標津町 秋の植樹祭



●中標津 第2ひかり幼稚園シンボルツリー植樹